

---

泉大津市  
子育て世代の生活実態と意識調査  
調査報告書

---

令和7年10月

## 目次

I	調査の概要 .....	1
II	調査結果 .....	2
III	調査票 .....	18

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、「第4次泉大津市男女共同参画推進計画」の策定にあたり、市民意識調査では回収数の少ない子育て世代に関する情報を補完し、家庭における家事・育児の分担状況、男性の育児参加の実態、分担に関する意識を把握して、家庭における共同参画につながる支援の方向を検討することを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

おやこ広場、子育てサークルに参加する保護者・にんじんサロンLINE登録者

## 3 調査期間

令和7年9月5日～令和7年9月16日

## 4 調査方法

おやこ広場等のイベント、子育てサークル参加者・にんじんサロンLINEを通じて二次元コードを配布、Webによる回答

## 5 回収方法

配布数	有効回収数	有効回収率
447件	77件	17.2%

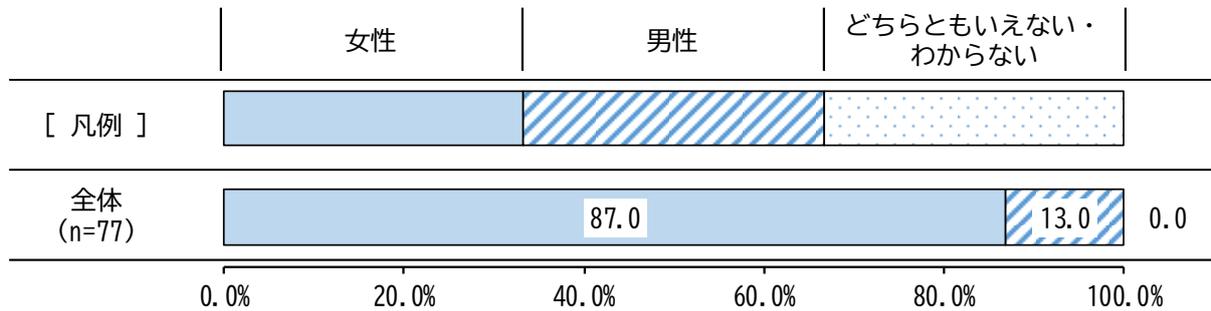
## 6 調査結果の表示方法

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 「MA」は「Multiple Answer（複数回答）」の略で、1つの質問に対して複数の選択肢を提示し、該当するものをすべて選んでもらう形式を指します。複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer=いくつでも）と記載しています。
- ③ 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ④ 不明（無回答）はグラフから除いている場合があります。
- ⑤ 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしています
- ⑥ 母数が少ない場合、分析から除外する場合があります。

## II 調査結果

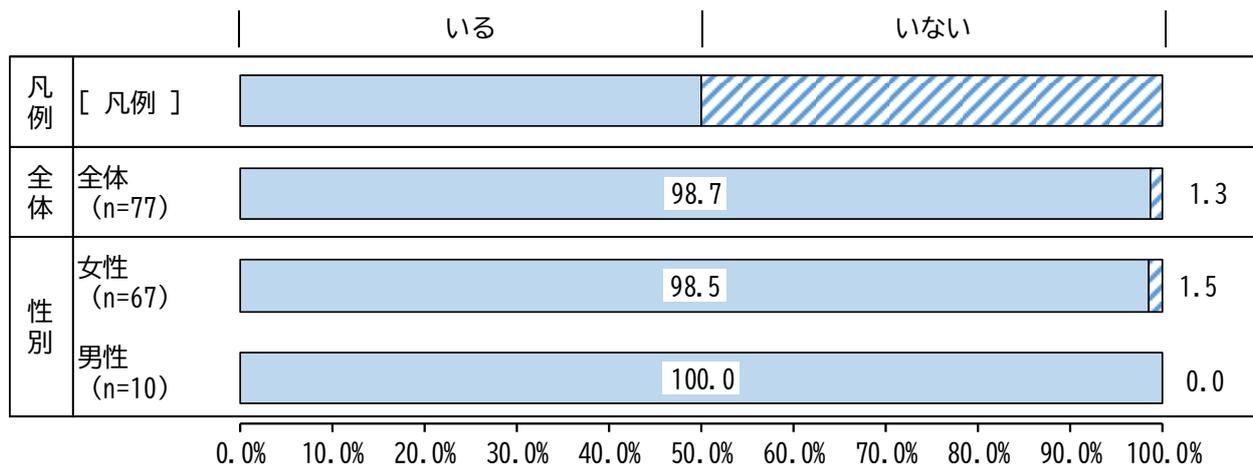
### F1. あなたの性別（ご自身で認識している性別をお答えください）

○ 性別について、「女性」が87.0%、「男性」が13.0%となっています。



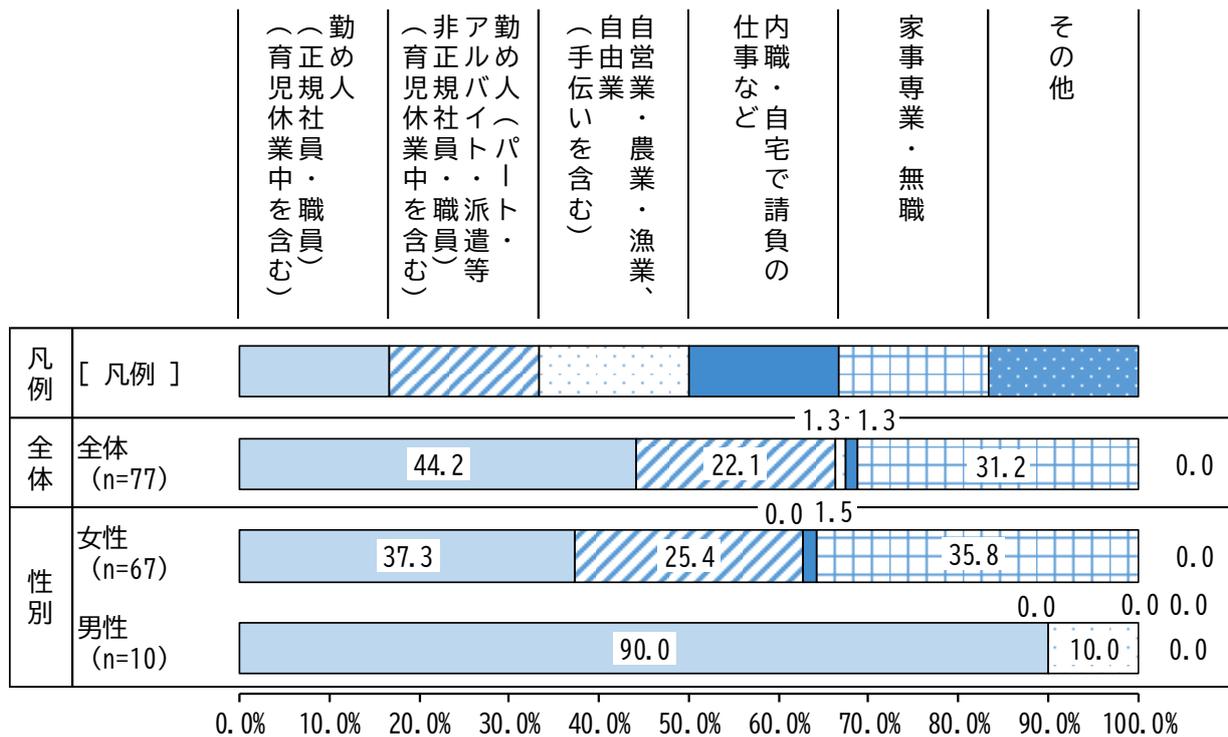
### F2. あなたは配偶者・パートナーがいますか。

○ 配偶者の有無について、「いる」が98.7%、「いない」が1.3%となっています。



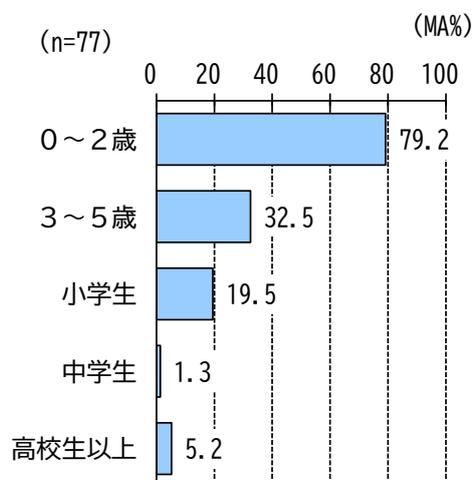
### F3. あなたの主なお仕事は何ですか。

- 主な仕事について、「勤め人（正規社員・職員）（育児休業中を含む）」が 44.2%で最も多く、次いで「家事専業・無職」が 31.2%、「勤め人（パート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員）（育児休業中を含む）」が 22.1%となっています。
- 女性では、「勤め人（正規社員・職員）（育児休業中を含む）」が 37.3%で最も多く、次いで「家事専業・無職」が 35.8%、「勤め人（パート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員）（育児休業中を含む）」が 25.4%となっています。
- 男性では、「勤め人（正規社員・職員）（育児休業中を含む）」が 90.0%、「自営業・農業・漁業、自由業（手伝いを含む）」が 10.0%となっています。



#### F4. 子どもの年齢（子どもの年齢は人数分回答してください）

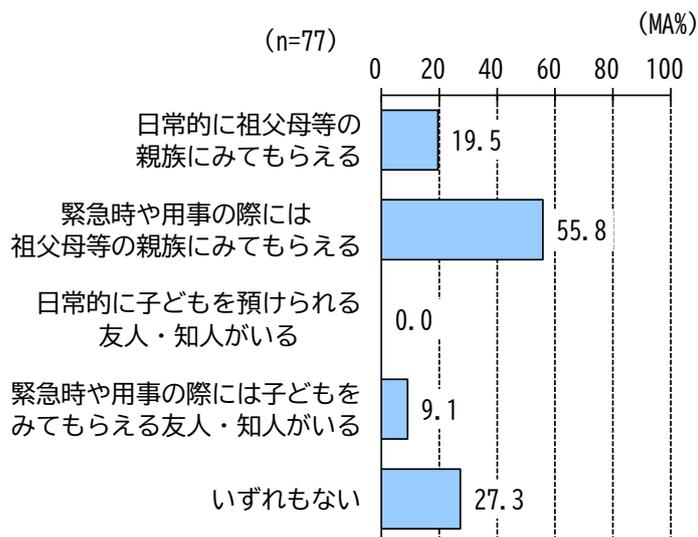
- 子どもの年齢について、「0～2歳」が 79.2%で最も多く、次いで「3～5歳」が 32.5%、「小学生」が 19.5%となっています。



		母数 (n)	F4. 子どもの年齢 (子どもの年齢は人数分回答してください)					無回答
			0 ～ 2 歳	3 ～ 5 歳	小 学 生	中 学 生	高 校 生 以 上	
全体		77	79.2	32.5	19.5	1.3	5.2	0.0
性別	女性	67	82.1	29.9	17.9	1.5	6.0	0.0
	男性	10	60.0	50.0	30.0	0.0	0.0	0.0

F5. 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてを選択)

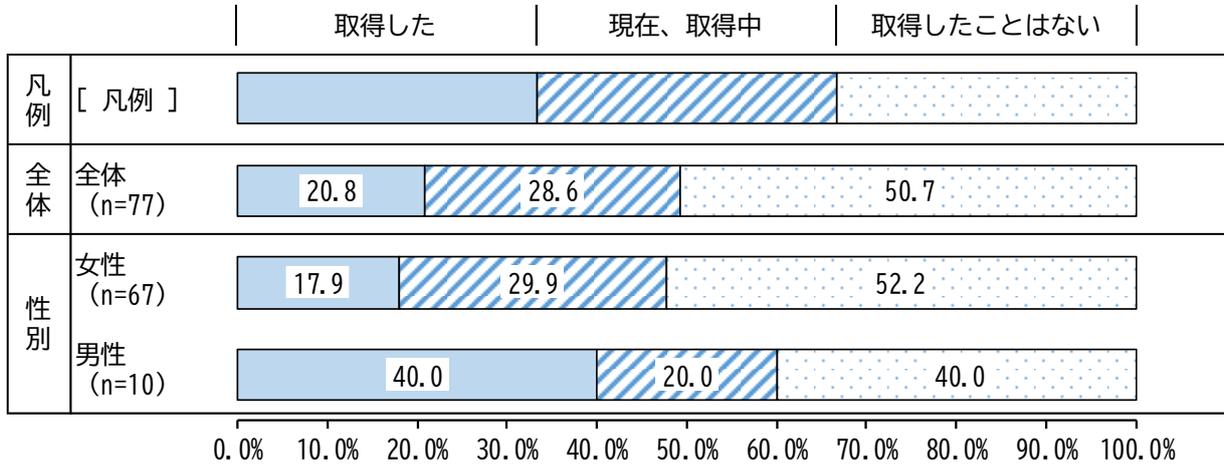
- 子どもの預け先について、「緊急時の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.8%で最も多く、次いで「いずれもない」が 27.5%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 19.5%となっています。



		F5. 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。 (あてはまるものすべてを選択)						
		親日常的にみて祖父母等	み祖緊急時や用事の際には	友預日常に子どもを	友子緊急時や用事の際には	いずれもない	無回答	
母数 (n)								
全体		77	19.5	55.8	0.0	9.1	27.3	0.0
性別	女性	67	20.9	53.7	0.0	9.0	28.4	0.0
	男性	10	10.0	70.0	0.0	10.0	20.0	0.0

問1. あなたは育児休業を取得したことがありますか。

- 育児休業の取得について、「取得したことはない」が50.7%で最も多く、次いで「現在、取得中」が28.6%、「取得した」が20.8%となっています。
- 女性では、「取得したことはない」が52.2%で最も多く、次いで「現在、取得中」が29.9%、「取得した」が17.9%となっています。
- 男性では、「取得した」「取得したことはない」がそれぞれ40.0%、「現在、取得中」が20.0%となっています。



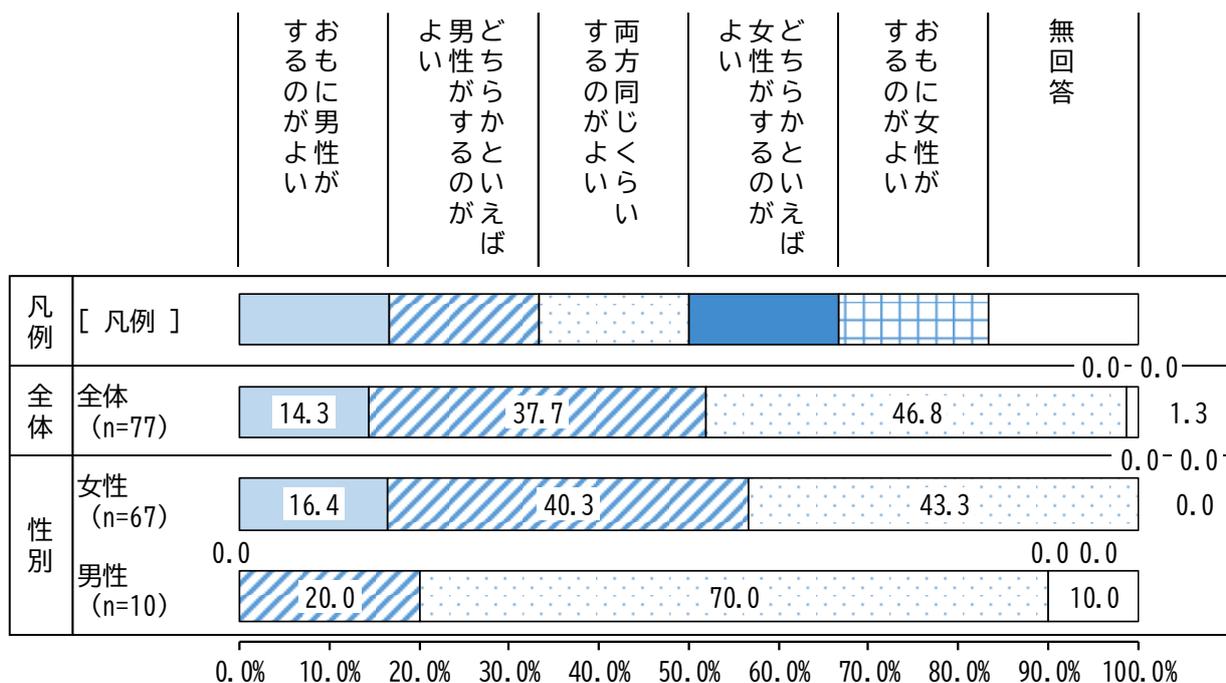
問2-1. 家庭での分担について、あなたはどのようにするのが望ましいと思いますか。

(配偶者・パートナーのいる方にお聞きします。)

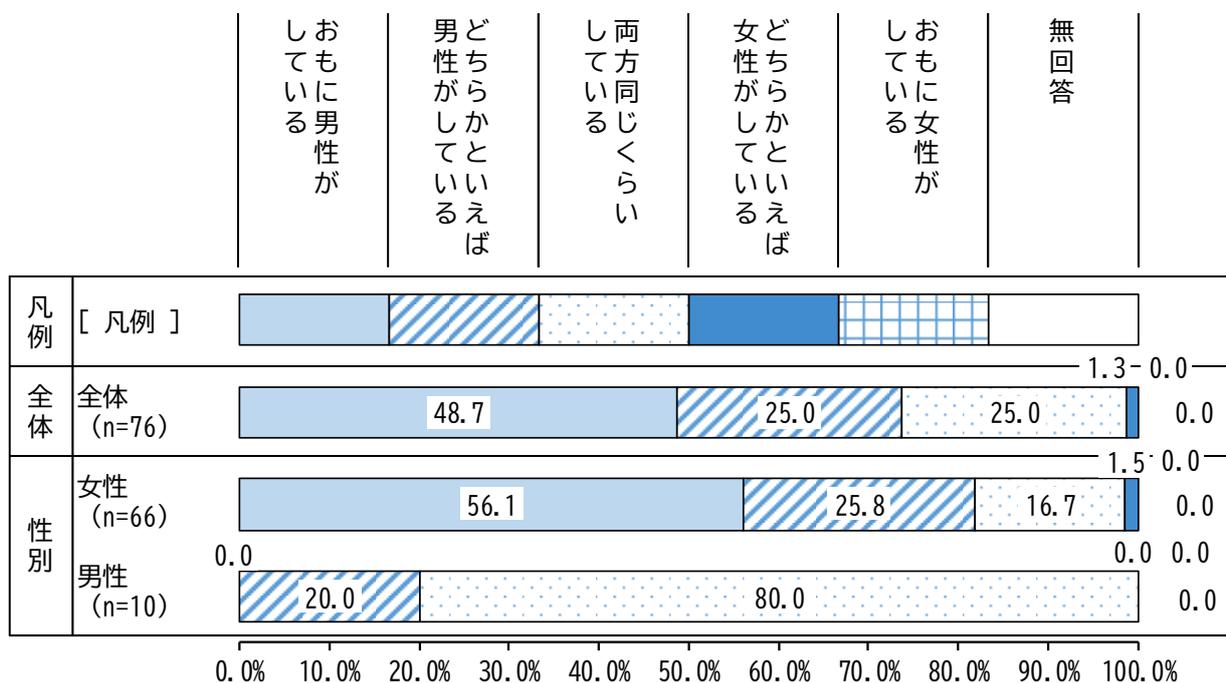
問2-2. 実際にあなたの家庭では、どのように分担していますか。

①生活費をかせぐ

- 理想の分担について、「両方同じくらいするのがよい」が 46.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性がするのがよい」が 37.7%、「おもに男性がするのがよい」が 14.3%となっています。
- 「おもに男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は、女性では 56.7%、男性では 20.0%となっています。

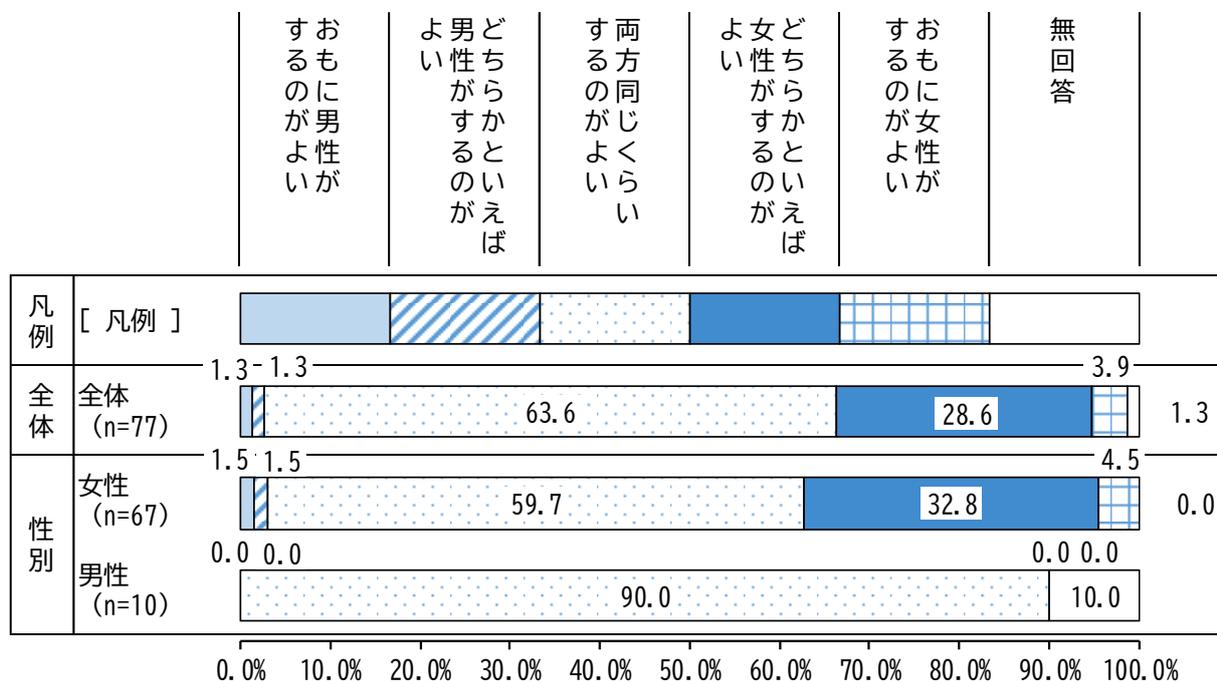


- 実際の分担について、「おもに男性がしている」が 48.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性がしている」「両方同じくらいしている」がそれぞれ 25.0%となっています。
- 「おもに男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は、女性では 81.9%、男性では 20.0%となっています。

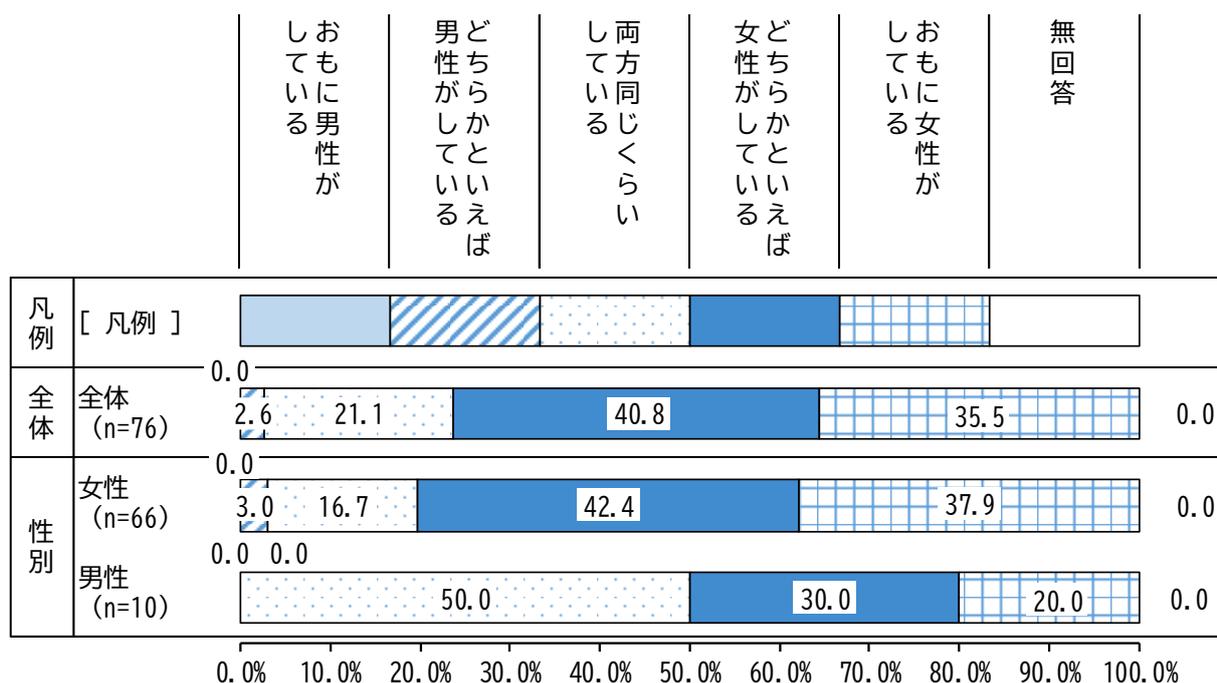


## ②日常の家事

- 理想の分担について、「両方同じくらいするのがよい」が 63.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が 28.6%、「おもに女性がするのがよい」が 3.9%となっています。
- 「おもに女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は、女性では 37.3%、男性では 0.0%となっています。

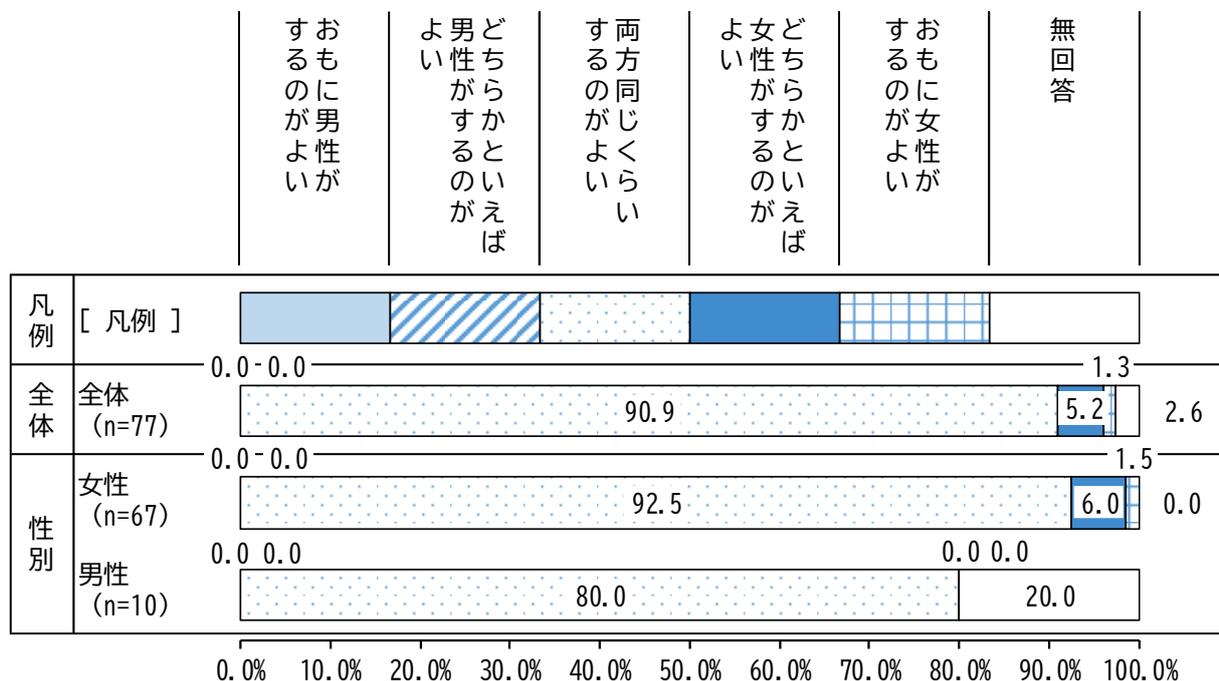


- 実際の分担について、「どちらかといえば女性がしている」が 40.8%で最も多く、次いで「おもに女性がしている」が 35.5%、「両方同じくらいしている」が 21.1%となっています。
- 「おもに女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は、女性では 80.3%、男性では 50.0%となっています。

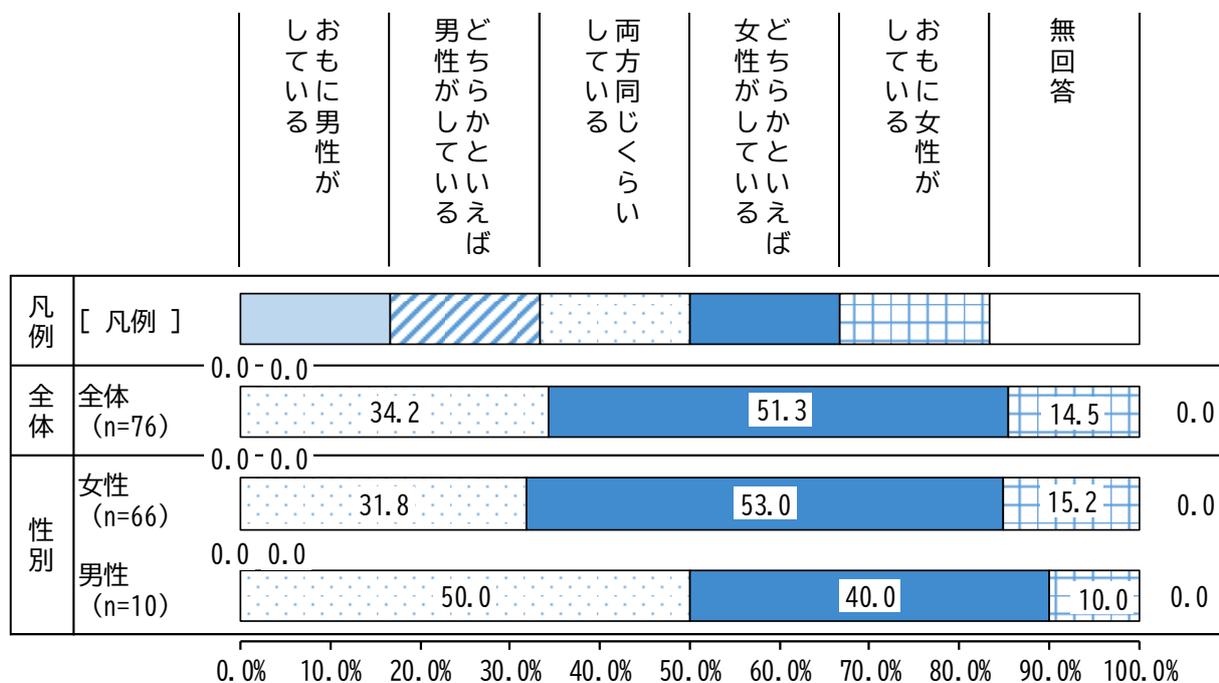


### ③子どもの教育としつけ

- 理想の分担について、「両方同じくらいするのがよい」が 90.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が 5.2%、「おもに女性がするのがよい」が 1.3%となっています。

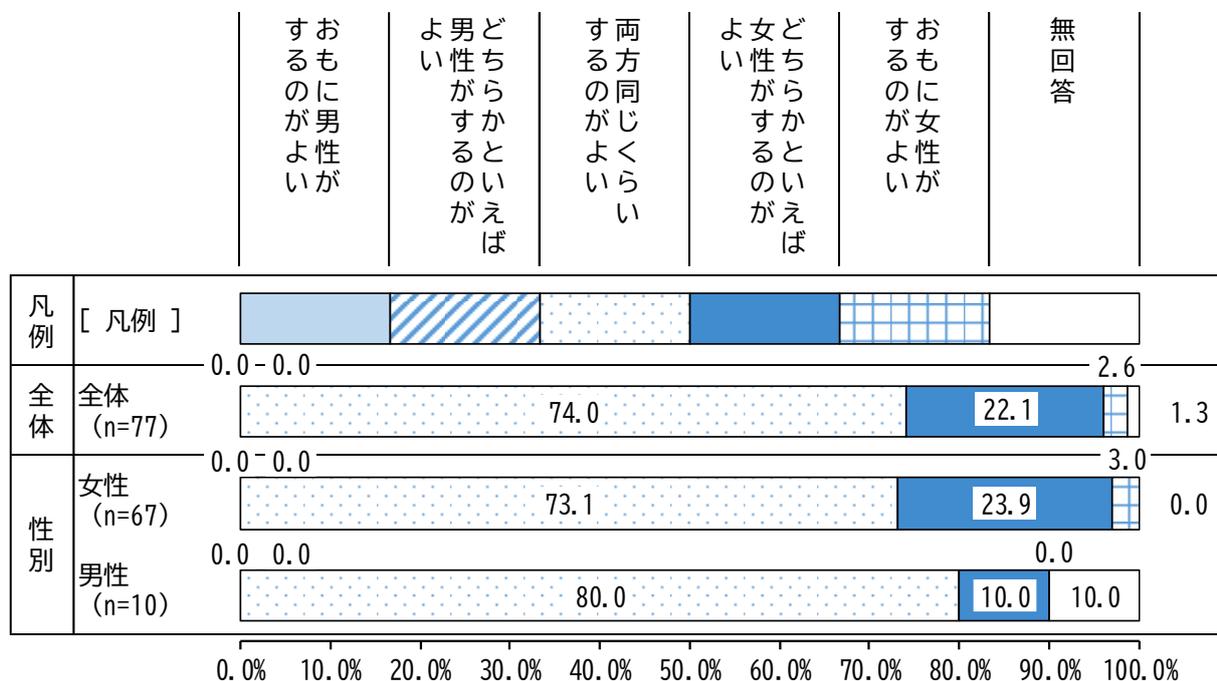


- 実際の分担について、「どちらかといえば女性がしている」が 51.3%で最も多く、次いで「両方同じくらいしている」が 34.2%、「おもに女性がしている」が 14.5%となっています。
- “女性がしている”は、女性では 68.2%、男性では 50.0%となっています。

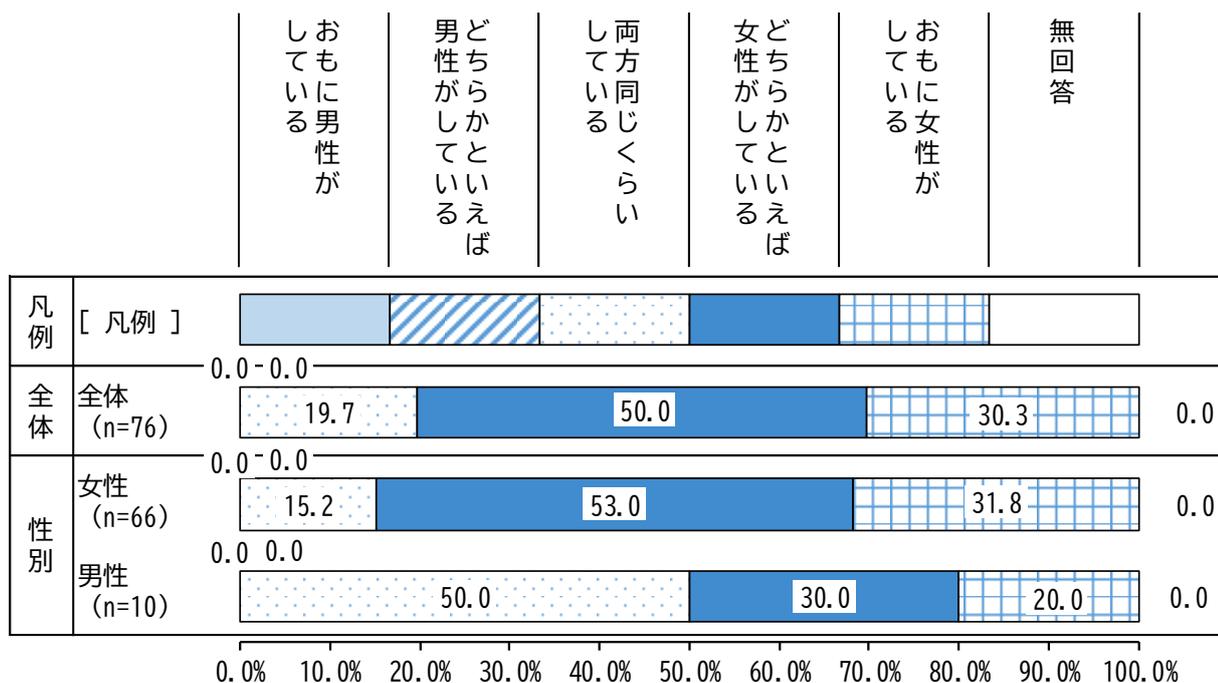


#### ④乳幼児の世話

- 理想の分担について、「両方同じくらいするのがよい」が 74.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が 22.1%、「おもに女性がするのがよい」が 2.6%となっています。
- 「おもに女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は、女性では 26.9%、男性では 10.0%となっています。



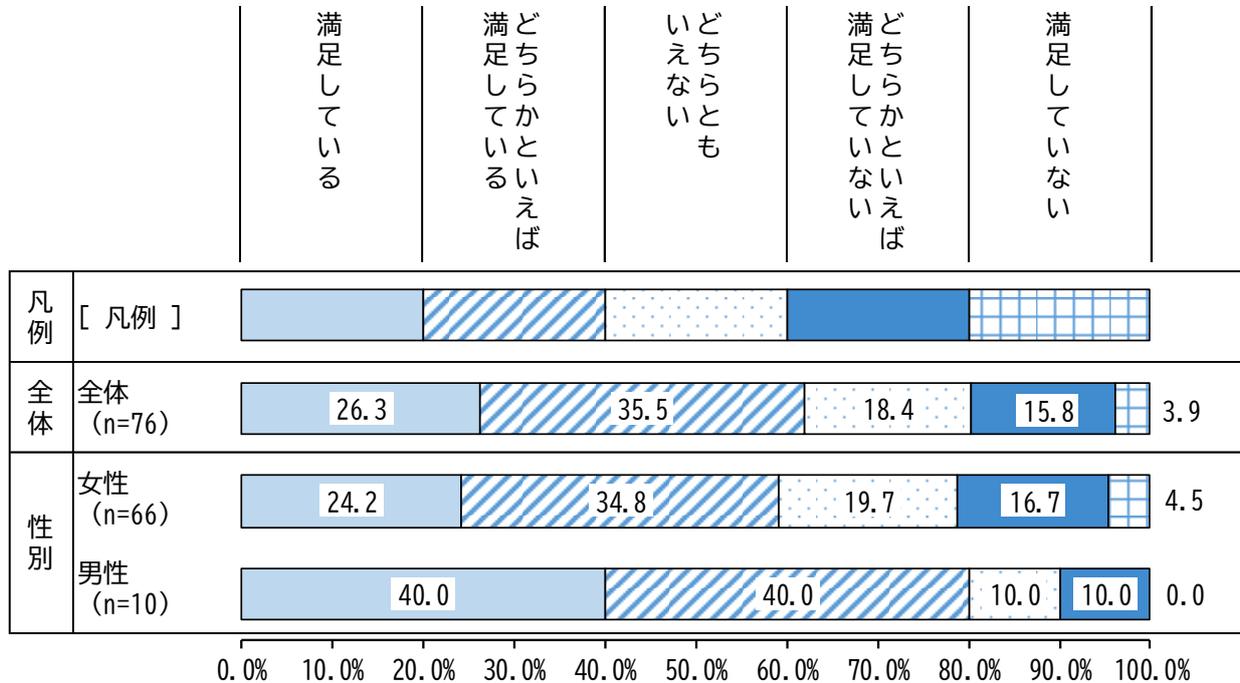
- 実際の分担について、「どちらかといえば女性がしている」が 50.0%で最も多く、次いで「おもに女性がしている」が 30.3%、「両方同じくらいしている」が 19.7%となっています。
- “女性がしている”は、女性では 84.8%、男性では 50.0%となっています。



(配偶者・パートナーのいる方にお聞きします。)

問3. 問2-2の①～④の家庭での分担状況に対する満足度はどうですか。

- 家庭での分担状況について、「どちらかといえば満足している」が35.5%で最も多く、次いで「満足している」が26.3%、「どちらともいえない」が18.4%となっています。
- 「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足している方”は、女性では59.0%、男性では80.0%となっています。



問4. 問3で回答された理由について、満足している点や、満足していない点などを自由にお書きください。

満足している・どちらかといえば満足している

- ・試行錯誤や夫婦の対話を重ねながら、お互いが納得のいく形で、わが家独自のルールを作ることができたから (例：寝かしつけは日ごとに交代、食器洗い係・洗濯係の分担分けなど)
- ・教育に関して、2人が同じ熱量を持ち、話し合いができる関係性を作っているから
- ・不定期ではあるが、家庭での話し合いの場を作っている
- ・満足できていない点は、日常生活に追われ、夫婦での対話の時間がなかなか取れない
- どちらかが仕事で遅くなる時は早く帰る方が家事、育児を主にするなどうまく分担できていると思うので満足している。
- 一応分担してやれているため満足している。
- 旦那は仕事に専念しつつも家事育児もそれなりに参加しているので満足しています。
- 7ヶ月の子がいます。夫は日中仕事のためどうしても育児に参加できません。娘のパパ見知りも始まってしまい、現在育児は私、家事は夫となってしまいました。育休前は正社員として働いていたため、家事は両方同じ程度行っていました。家族が増えたことで役割が変わったことに不満はありません。ただ、夫がもっと育児に参加できるような環境であったり、子どもとの関わり方を知る機会があればいいと思います。
- 休みの日や、どうしても手が離せない時はお願いすれば助けてくれるので満足しています。
- 旦那も半年間育休取得できたから助かっている。
- 不満があったり病気をしたり困ることがないから
- 妻は時短で夫の方がフルタイムで稼いでいるので妻の方が育児の負担が増えるのは仕方ないと思うから。
- 概ね満足しているが、完全に平等というわけにはいかない点。
- 共働きだと満足しない部分もある
- 子供にかかわる時間が、ママのほうが長くなってしまいうから子供のしつけは配分がママの割合が多い。現実とはズレるが、お互いできることを気持ちはお互いかわりながら、補いながらできたらいいとは思

私のアンコンシャスバイアス以上に、妻側のアンコンシャスバイアスがあり、平等にはなかなかない
自分には合っている仕事分担だから。
休みの日は協力してくれる
夫が協力的なのであまり不満はありません。 強いていうならば、子供がご飯を食べる時間(18時~18時半)までに帰ってきてほしい。
車の運転が主人のみ可能なため、遠方への病院受診や少し距離のある用事の時に手伝ってもらい、満足している。
自分の希望で専業主婦をやらせてもらっているが、働いていないという罪悪感の中で常に生活している。 今更働いても稼ぎもそんなにないので、家事育児をもう少し手伝ってほしいと言いつらい。
仕事から帰ってきてからや休日は、子どもの世話をしてくれます。 やってくれてる方だと思いますが、もっと気を遣って動いて欲しい部分は、たくさんあります！
仕事で帰りも遅い日が多いけど、出来ることは手伝ってくれるので、かなり助かってます。
仕事をしてもらっている分(現在、自分は育休中)家事、育児をある程度するのは当たり前だと思っている。 疲れて帰ってきている中でも、子供との関わりを積極的に持ってくれたりしてくれているので満足している。 今日あったことなど、もう少し聞いてほしいなど思うことはあるが、ある程度は満足している。
我が家はお互いが同じくらいの収入のため家事、育児は同じだけ分担と結婚前から決めていたのでできているため満足！ 育休中のためどうしても子どもと一緒にいる女性側が家事や育児をしているほうが多い

### どちらともいえない

仕事もあり、自分よりも妻の方に、家事や世話等の比重がどうしても多くなってしまっている。 以前よりも育休は取りやすくなっているとはいえ、まだまだ仕事によっては取りづらい。
言えばやってくれるので良いが、言わないとやらない
毎日疲弊して言語化する気持ちになれない 一区切りついたという実感もない
今私は育休中で時間があって日中出来るので、夫のいない平日に日常の家事や乳幼児の世話を私が多くすることは仕方ないと思っている。 休日に多く家事をやってくれたり子どもと遊ぶ時間を多く取ろうとしてくれる訳ではないので、満足ではない。仕事してくれるのはありがたいが。
それぞれの役割で、得意な方を選べばよいので、どちらともいえない
家事も仕事もどちらも折半するほうが個人的には精神衛生上良いと思う。 しかし、今現状収入的な面や乳幼児の育児の面で難しく、仕方ないなと割り切ることで生活をしている状態。
お仕事をしながら育児に携わるのは大変だと思うが、子どもに YouTube を見せ、寝っ転がっているのを見たり、「〇〇しないとママが怒るよ(例えば歯磨き)」、育児休暇の間に病気になった私&子どもを置いて自分の部屋にこもったり(うつると大変だからだそうです)私が体調悪くても会社の飲み会に行けると納得できないなあと思う。

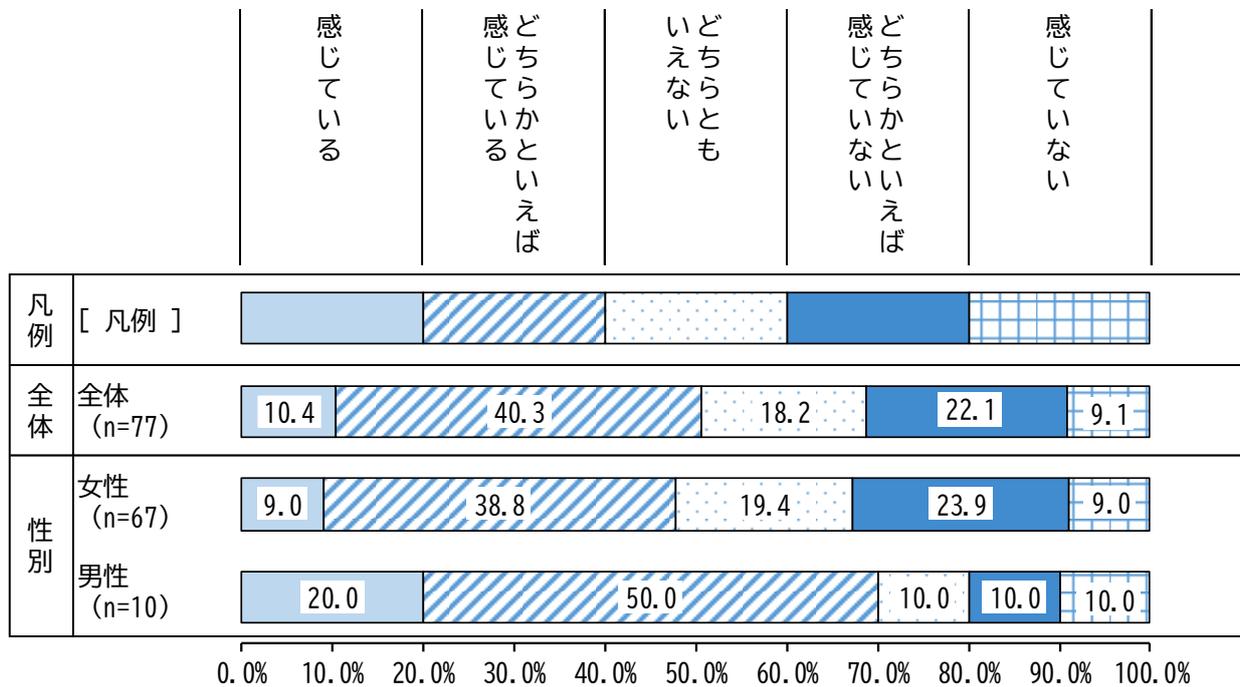
### どちらかといえば満足していない・満足していない

共働きにもかかわらず、家賃等の金銭負担が男性側に偏っている
夫には、どうしても決まった家事しかしてもらえないと感じる。いわゆる名も無き家事については自身しかしておらずに少しずつ不満が募る。
私自身もそのように育ててもらったので、3歳まで保育園に入れずに子どもを育てたいが、物価高・不景気で父親だけの給料では先を考えると育休を取得したのち復帰して働く選択をしている。 男性が頑張れば家計が安定する世の中になって欲しい。女性の社会進出を！と思っている母親はごく一部だと思う。
子どもに関することはあまり負担と思わず積極的にしてくれるパートナーだが、家のこととなると気が向いた時かしらない。 してくれるだけいいのかもしれないが、家事はもっと「常にあるもの」「気が向かなくてもしなければならぬもの」だと思うので、不満は感じている。(ただ、時間があるのは私になってしまうため、飲み込んでしまう…)
子どものしつけ、子ども関係の手続きなどは全て母である私がしている。同じ親なのだから夫にもしてほしい。 女性は出産などで肉体的、精神的な負担などから仕事をフルタイムですることが難しいように思う。子どもが小さいうちだけは夫が主体になって稼いで育児にも参加してほしい。

育休中なので主に女性がしているから
子供を預けることができれば お互いが働きにも出れ、金銭面での余裕も多少生まれ父が家庭、子供の時間を増やすことができると思うから
配偶者は私と同様に育児も家事もやろうとしてくれており、その点については満足しています。ただ、泊まり仕事もあるため、自宅で子どもと過ごす時間がどうしても短くなるため、母親に偏っているな、という不満感があります。 また、近くに祖父母がおり、祖父母から母親がやらないと、という指摘があることもあり、そのあたりも不公平感を感じる一因になっています。
母親の負担が多いと感じるため
家の仕事は、基本、女性に偏っている。子育ての負担が大きい
自身の不調時に手助けが無い点
全て母親がしている。父親は朝から夜遅くまで出ているので。
まだ男性（私の旦那）は女性が家事や育児をして当然と思っている。 その点、生活費は入れてほしくて働いてほしいと。全ては難しいのでまだまだ年齢にもよると思いますがCM や子どもが生まれたら必ず男性が参加出来る育児講座や女性の出産から身体や気持ちに波があるの分かる講座をひらいてほしいです。自由参加はなしで（笑）

問5. あなたは家事・育児を負担に感じていますか。

- 家事・育児の負担について、「どちらかといえば感じている」が 40.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば感じていない」が 22.1%、「どちらともいえない」が 18.2%となっています。
- 「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“家事・育児の負担を感じている方”は、女性では 47.8%、男性では 70.0%となっています。



問6. 問5で回答された理由や具体的に負担に感じる内容について、自由にお書きください。

(家事・育児を負担に) 感じている・どちらかといえば感じている

時間がない
自分自身が一人の時にしたいことややりたいことがあるが、子供がいると、そちらを優先してできないこと、いけないことなどの制限を感じるから
子供の体調不良等で急に仕事の休みを取る時の夫婦間での調整や、共働きということもあって、育児に取り組む時間的、体力的余裕が専業主婦（主夫）家庭よりも無い気がしていて、負担感はある。
1人なので家事育児全部しないといけないから余裕がない。
自営業なので休みがない
毎日となるとやはり大変なので理想のようにはできていないと感じる
思春期男児に母親が出来ることは多くないと思っています
・きょうだい喧嘩（子どもによるママの取り合い） ・習い事等の送り迎え（夫婦2人で世話をしているので、子ども2人の送り迎えは大変）
土日に夫が仕事で保育園もないので丸2日間1人で育児が発生するため。
なかなか自分の時間が取られないから。
土曜日、育児のほとんどを1人でやっている。 子どもの保育園への送迎をほとんど負担している。
仕事との両立が大変だと感じるため。
家庭内だけでおさめるのが難しい部分も多いが、地域やサービスに頼りたくない妻の性格もあり負担も少しある。（食事の準備や送り迎えなど）
あまり家事が得意ではないのに、働いていないことで、その役割を自分が担っているから。
もっと大変な人がいるとは分かっているけど、疲れること、負担に思うことはある。 特に体調が優れない時など、「やらなくてはいけないこと」にうんざりする。 時間・体力・精神的な余裕が必要。
子供が多分 ADHD だから。
出張の仕事が多く1人で対応する時間が多いため

朝誰よりも早く起きてパートに行き、帰ってから家事育児、みんなが寝てから就寝。体力的にもつらい。子育てしながらの家事は大変！
毎日の料理がとても負担に感じる。他の家事よりも束縛時間(献立決め～買い物～調理～片付け)が大きい。
夫の仕事が不規則なので、その日によって夕食がいたりいらないかたりするのが面倒くさい。コミュニケーションをとれば解決するのだろうが私が食べたいものと夫が食べたいものが違ったりして気が乗らない献立をつくることも負担だと感じる。
家事はほぼ自分だから
専業主婦で自宅保育なので1日中、子どもに付きっきり。日中、家事なんて出来ない。
実家も遠く、旦那さんも朝早くから夜まで仕事で、ワンオペの時間が長く、頼れる人が周りにいない為1人の時間が欲しい
仕事をしていることもあり、仕事以外の時間はほぼ家事育児に消えて、自分の自由な時間が持てていないと感じるため
ほぼワンオペのため
子どもの相手をしながら家事をしっかりとこなせない 栄養のあるものをしっかりと作れない、作っても食べてくれず捨てることになる 常に家が散らかっており、ストレス
祖父母に子どもを預けるのは、事前に予定を組んで預けることができるが、緊急時は預けたり助けてもらうことが難しい。
子どもがちらかしたり汚したりするのは当然だと思うが、なぜ旦那のことまでしないといけないのかと思ってしまう。

#### どちらともいえない

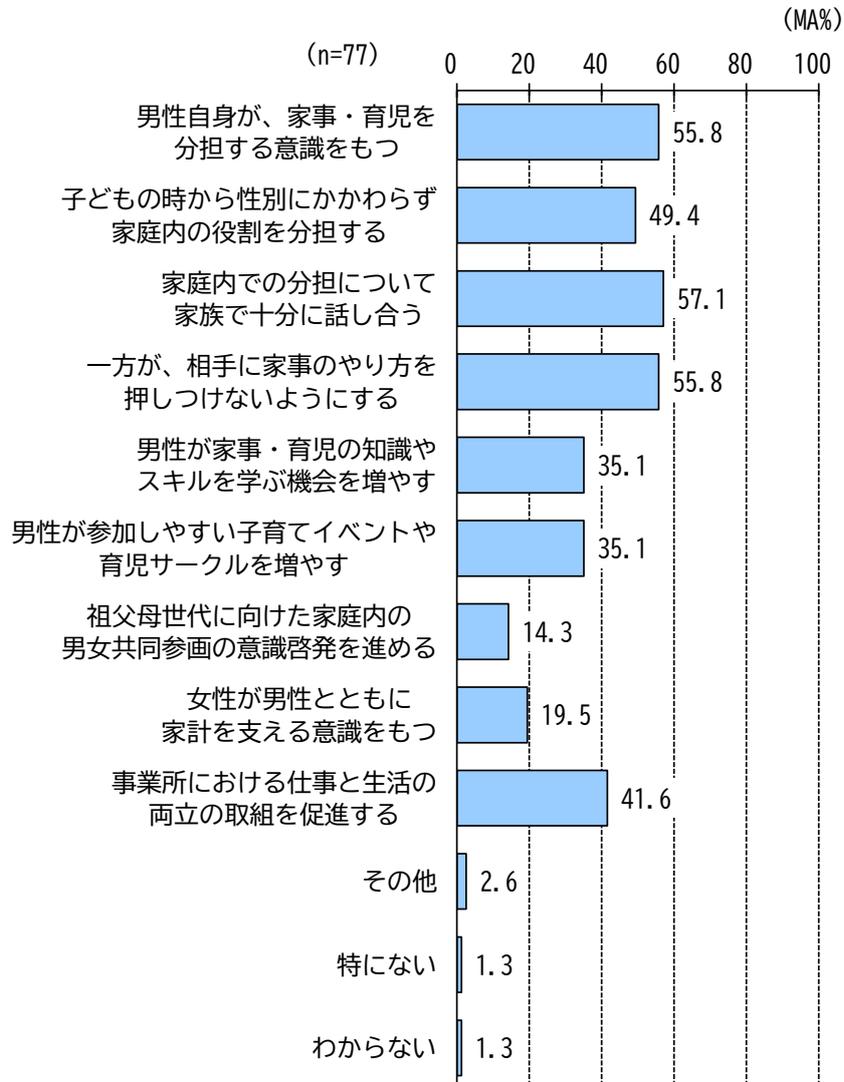
家事、育児が負担には思わないが、仕事との両立が難しいときがある。
育児はそれほど負担ではないが、強いて言うなら習い事の送迎が負担に感じる。 家事も父親が少し担ってくれれば助かるが、仕事で難しいのであてにはしていない。
言わなくても夫に気づいてやって欲しい
大変だが自分の成長もある
就労していない自分がした方が早いだけである
衣服や食料品の買い出しをする際に、あちこちいく必要があり忙しく感じる時があるため
夫は料理が出来ないので、私ばかりになる。
得意な方を選べばよい
現状外に働きに出ていないから
家事自体は負担ではないが子育てしながらの家事は大変なため負担と感じることはある。

#### (家事・育児を負担に) どちらかといえば感じていない・感じていない

得意ではないが、育休中の為時間があるのでこなせる。
一日中子供を見ているのでストレスがかかることもあります。子供を見るのも仕事なので頑張っていますが疲れます。
出来ることは手伝ってくれるので、特に不満はないです。
自分のペースで活動できているから
やらなければいけないのでやる やってる自分が心地いい
結婚当初よりお互いの得意、不得意について話し、負担なく分担できていると思います。現在は育児に集中できるように、夫は率先して家事をしてくれています。お陰様で子どもと楽しく過ごせています。

問7. あなたは、子育て中の家庭において男女が家庭の役割を平等に担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)

- 家庭の役割を平等に担うために必要なことについて、「家庭内での分担について家族で十分に話し合う」が 57.1%で最も多く、次いで「男性自身が、家事・育児を分担する意識をもつ」「一方が、相手に家事のやり方を押しつけないようにする」がそれぞれ 55.8%、「子どもの時から性別にかかわらず家庭内の役割を分担する」が 49.4%となっています。



- 女性では、「家庭内での分担について家族で十分に話し合う」が 59.7%で最も多く、次いで「男性自身が、家事・育児を分担する意識をもつ」「一方が、相手に家事のやり方を押しつけないようにする」がそれぞれ 55.2%となっています。
- 男性では、「男性自身が、家事・育児を分担する意識をもつ」「一方が、相手に家事のやり方を押しつけないようにする」「男性が参加しやすい子育てイベントや育児サークルを増やす」「事業所における仕事と生活の両立の取組を促進する」がそれぞれ 60.0%と最も多くなっています。

		問7. あなたは、子育て中の家庭において男女が家庭の役割を平等に担うためには、 どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてを選択)																					
		母数 (n)	男性 自身 が、 家事 ・ 育児 を 分 担 す る 意 識 を も つ	家 庭 内 に も の 役 割 を 分 担 す る	子 ど も の 時 か ら	家 族 内 で 十 分 に 分 担 し 合 う	に や り 方 を 推 し つ け な い よ う に す る	一 方 が 、 相 手 に 家 事 の や り 方 を 推 し つ け な い よ う に す る	ス キ ル が 学 ぶ 機 会 を 増 や す	男 性 が 家 事 ・ 育 児 の 知 識 を 増 や す	育 児 サ ー ク ル を 増 や す	男 性 が 参 加 し や す い	意 識 啓 発 を 進 め る	家 庭 内 の 男 女 共 同 参 画 の 意 識	祖 父 母 の 代 向 け た 参 画 の 意 識	家 計 を 支 え る と も に 参 画 す る	女 性 が 支 え る と も に 参 画 す る	促 進 す る	事 業 所 に お け る 両 立 の 取 組 を	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	77	55.8	49.4	57.1	55.8	35.1	35.1	14.3	19.5	41.6	2.6	1.3	1.3	0.0									
女性	67	55.2	49.3	59.7	55.2	35.8	31.3	16.4	17.9	38.8	1.5	1.5	1.5	0.0									
男性	10	60.0	50.0	40.0	60.0	30.0	60.0	0.0	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0									

### Ⅲ 調査票

F1. あなたの性別。(ご自身で認識している性別をお答えください)

1. 女性

2. 男性

3. どちらともいえない・わからない

F2. あなたは配偶者・パートナーがいますか。

1. いる

2. いない

F3. あなたの主なお仕事は何ですか。

1. 勤め人（正規社員・職員）（育児休業中を含む）

2. 勤め人（パート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員）（育児休業中を含む）

3. 自営業・農業・漁業、自由業（手伝いを含む）

4. 内職・自宅で請負の仕事など

5. 家事専業・無職

6. その他

F4. 子どもの人数

人

F4. 子どもの年齢（子どもの年齢は人数分回答してください）

1. 0～2歳

2. 3～5歳

3. 小学生

4. 中学生

5. 高校生以上

F5. 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてを選択）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる

4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

5. いずれもない

問1. あなたは育児休業を取得したことがありますか。

1. 取得した

2. 現在、取得中

3. 取得したことはない

問2-1. 家庭での分担について、あなたはどのようにするのが望ましいと思いますか。

①生活費をかせぐ

- 1. おもに男性がするのがよい
- 2. どちらかといえば男性がするのがよい
- 3. 両方同じくらいするのがよい
- 4. どちらかといえば女性がするのがよい
- 5. おもに女性がするのがよい

②日常の家事

- 1. おもに男性がするのがよい
- 2. どちらかといえば男性がするのがよい
- 3. 両方同じくらいするのがよい
- 4. どちらかといえば女性がするのがよい
- 5. おもに女性がするのがよい

### ③子どもの教育としつけ

- 1. おもに男性がするのがよい
- 2. どちらかといえば男性がするのがよい
- 3. 両方同じくらいするのがよい
- 4. どちらかといえば女性がするのがよい
- 5. おもに女性がするのがよい

### ④乳幼児の世話

- 1. おもに男性がするのがよい
- 2. どちらかといえば男性がするのがよい
- 3. 両方同じくらいするのがよい
- 4. どちらかといえば女性がするのがよい
- 5. おもに女性がするのがよい

(配偶者・パートナーのいる方にお聞きます。)  
問2-2. 実際にあなたの家庭では、どのように分担していますか。

①生活費をかせぐ

- 1. おもに男性がしている
- 2. どちらかといえば男性がしている
- 3. 両方同じくらいしている
- 4. どちらかといえば女性がしている
- 5. おもに女性がしている

②日常の家事

- 1. おもに男性がしている
- 2. どちらかといえば男性がしている
- 3. 両方同じくらいしている
- 4. どちらかといえば女性がしている
- 5. おもに女性がしている

③子どもの教育としつけ

- 1. おもに男性がしている
- 2. どちらかといえば男性がしている
- 3. 両方同じくらいしている
- 4. どちらかといえば女性がしている
- 5. おもに女性がしている

④乳幼児の世話

- 1. おもに男性がしている
- 2. どちらかといえば男性がしている
- 3. 両方同じくらいしている
- 4. どちらかといえば女性がしている
- 5. おもに女性がしている

(配偶者・パートナーのいる方にお聞きます。)

問3. 問2-2の①～④の家庭での分担状況に対する満足度はどうですか。

- 1. 満足している
- 2. どちらかといえば満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば満足していない
- 5. 満足していない

問4. 問3で回答された理由について、満足している点や、満足していない点などを自由にお書きください。

問5. あなたは家事・育児を負担に感じていますか。

- 1. 感じている
- 2. どちらかといえば感じている
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば感じていない
- 5. 感じていない

問6. 問5で回答された理由や具体的に負担に感じる内容について、自由にお書きください。

問7. あなたは、子育て中の家庭において男女が家庭の役割を平等に担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1. 男性自身が、家事・育児を分担する意識をもつ
- 2. 子どもの時から性別にかかわらず家庭内の役割を分担する
- 3. 家庭内での分担について家族で十分に話し合う
- 4. 一方が、相手に家事のやり方を押しつけないようにする
- 5. 男性が家事・育児の知識やスキルを学ぶ機会を増やす
- 6. 男性が参加しやすい子育てイベントや育児サークルを増やす
- 7. 祖父母世代に向けた家庭内の男女共同参画の意識啓発を進める
- 8. 女性が男性とともに家計を支える意識をもつ
- 9. 事業所における仕事と生活の両立の取組を促進する
- 10. その他
- 11. 特にない
- 12. わからない